



あの日あのときのあすひ

第24回

1989年(平成元年)9月15日号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報あさひ平成元年9月15日号を紹介します。

表紙は、一中放送部の紹介です。この当時、東総地区内の中学校で唯一の放送部として、校内放送や映像の記録などの活動をしていました。現在のようにスマートフォンで簡単に撮影できる環境がない時代に、撮影や放送機材を扱う経験は貴重だったと思います。

そのほかは、保健推進員による「子どもの健康のつどい」です。集会施設に出向き、紙芝居やゲームを通して、児童に食べ物と健康の関わりを考えてもらおうという取り組みでした。

子供たちの健康を
考えよう



8月8日、西琴田の農村広通やすらぎの家で、保健推進委員共和友会が主催する「子供の健康のつどい」が開かれ、同地区の小学生21人が参加しました。

海上都市のススメ

八月六日、海上郡市のスポーツマンが集り、飯岡中学校をメイン会場にして、海上郡

子どもの健康のつどい

平成元年の主な出来事

●ドイツ「ベルリンの壁」が崩壊

應報

あさひ

△主要内容

- 長くなった
中・高年層をどう生きる
- 現代病・ストレスを減える
- 国民健康保険制度のあらまし
- 10円から始まる
財と知人の家の講義



独創性、発想を大事に

— 中 放 送 部

一中放送部（部長・富永昭夫君、顧問・関和夫先生、林樹哉先生）は、総員男子10人、女子9人、東総管内の中学校で「放送部」があるのは一中だけです。

両者は、「校内放送を通じてうらおいのある学校生活の手帳にふりこ」を共同制作して、朝、昼、晩の3回の放送のほか、学校行事の全録画なども行っている。校内放送では、自主制作の「生放送」が多い。例えば、「サマシストリート」では、学生が自主制作した音楽やダンスの動画を校内放送で流すなど、校内放送の枠を守りながら、独自の発想を大膽に生かした企画を行っているという。

対外的には、女子は、7月に全国中学校放送コンテスト泉子選へ参加しており、男子は、「新川」を題材としたビデオを制作作成中で、10月の千葉県総合芸術コンクールに出展する予定だ。



NO.463

1989年9月15日 毎月1日・15日発行

● 編集 某市證券市場公會 電話:25 某市:01030 042901212

9/15

表紙(一中放送部)